

## 日本での交換留学

台湾 政治大学  
リー シュエンイー

台湾の政治大学から来た交換留学生のリー シュエンイーと申します。私は約10か月間、お茶の水女子大学に留学させていただきました。1年間はあっという間に過ぎ去ってしまいましたが、この留学経験は、私にとってかけがえのないものになりました。

日本に来たばかりの頃、日本語に自信がなかった私は、前期に1つの正規の授業を受けた以外、すべて留学生特別科目を受講しました。日本語演習3Aでは、プレゼンテーションの方法を学び、実践しました。毎回の授業で、PREP法またはSDS法のどちらかの文章作成法を使って、留学生たちは自分の国について意見を述べました。日本事情演習2Aと日本語演習4Aでは、グループを作ってディスカッションを行い、まとめた内容を基に、パンフレットを作りました。他にはビジネス日本語と日本語教育概論など非常に実りある授業も受けました。この授業では、ディスカッションやプレゼンテーションを行う機会がたくさんありました。以上、私が履修した授業はすべて少人数クラスでした。そのため、先生は一人ひとりに目配りしてくださり、学生も発言する機会が数多くありました。最初はかなり緊張していましたが、その代わりに、日本の文化と留学生同士の国のことをもっと深く知ることができました。

後期では日本語論・日本文学・日本語音声表現論などの正規科目を受講しました。授業では日本語のオノマトペや理系小説のことなどを勉強しました。講義の内容を読解するのは一気に難しくなって、苦勞しました。しかし、以上の授業の内容は、全て政治大学で勉強したことがない内容だったため、非常に有意義な時間を過ごすことができたと思います。

日本で生活するのは、高校生の頃からの夢でした。この10か月間、私は好きな歌手のコンサートに行ったり、劇場で漫才を見たり、友達といろんなところに旅行を行ったりしました。私にとって、本当に夢のような時間でした。最も忘れられないのは、日本の四季です。私は春のお花見、夏のお祭り、秋の紅葉狩り、冬の行事などの日本の風情を味わい、日本の文化を肌で感じる事ができて、留學生活を思う存分楽しむことができました。



最後に、無事に留学を終えられたことを、支えてくださった多くの方々に感謝したいです。

お茶の水女子大学は間違いなく、留学生に優しい大学でした。毎週留学生のホームルームがあり、萩原先生と松田先生は授業の履修登録の方法や、教授へのメールの書き方など、いろいろ教えてくださいました。さらに、留学生たちが気軽に日本の方々と国際交流できるように、何度も交流会を開いていただきました。萩原先生と松田先生のおかげで、不安や困りごとがない留学生活を送ることができました。感謝の言葉しかありません。

西坂先生、加藤先生、山口先生、唐先生にも感謝します。留学する前、私は日本語を話すときに間違えないか心配でした。幸いなことに、特別科目の先生方は、私が時々間違った日本語を使っても、親切にご指導くださいました。その結果、話すことへの恐怖心が薄れ、自分の考えを簡単に述べるできるようになりました。先生方には本当に感謝しています。

そして国際課の大野さん、このような大変な時期に入国手続きを手伝ってくださって本当にありがとうございました。大野さんがいなかったら、こんなに順調に日本に来ることができませんでした。

管理人さん、寮の生活について、たくさんのご支援をありがとうございました。いつも私の質問に答えてくださって、そして私の銀行口座状態をご確認してくださって、ありがとうございました。

最後に、竹村先生、今まで大変お世話になりました。いつも振り返りシートをご確認くださいたり、履修希望のメールを書いてくださったりと、たくさんご支援いただき誠にありがとうございました。